

原子力規格委員会の取組み 原子力の安全性向上の具体化と 規格基準の活用について

平成27年6月4日

原子力規格委員会 幹事

越塚 誠一



福島第一発電所事故の反省を踏まえた学協会規格の役割

日本原子力学会「学会事故調最終報告書」2014.3.11 より

✓ 事業者の自主的な安全向上

学協会規格の策定活動を、事業者の自主的かつ継続的な安全向上の1つの重要なプロセスとして機能させる。

✓ 最新の研究成果の取り込み

最新の研究成果を安全向上へ取り込むためのしくみとして、学協会規格を位置づける。

✓ 専門家の意見の反映

意見分布を持つ専門家の間で合意される学術的な知見を、中立かつ公平な手続きを経て、学協会規格として安全向上に反映させる。

原子力関連学協会規格類協議会の取組み

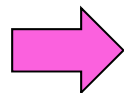
前掲の役割認識を具現化すべく、原子力関連学協会規格類協議会では、今後取り組むべき規格の制定・改訂に関する包括的な見直し・再検討を実施し、その成果を2012年11月27日及び2014年3月11日の協議会に報告

1. 今後取り組むべき規格整備計画として合計83項目を抽出し、その分担と優先度を設定

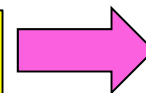
	優先度	総数	内訳		
			AESJ	JEA	JSME
総数 ……計 83 件	高	39	14	20	5
	中	24	13	7	4
	低	20	0	9	11
【添付-1】NISA 報告書等及び新規制基準 ガイド等対応 ……計 71 件(「TBD」は中に分類)	高	38	14	19	5
	中	14	4	7	3
	低	19	0	8	11
【添付-2】原子力安全委員会指針類民間規 格化対応 ……計 12(「実施済」を除く)	高	1	0	1	0
	中	10	9	0	1
	低	1	0	1	0

2. 更に今後の課題として以下を提言

- ① 上記整備計画案を各学協会の努力目標を示す「緩やかな」合意事項とし、今後も見直し、Up Date及び協議を継続すること
- ② 新規制体系における学協会及び学協会規格の「立ち位置」と「役割」について規制側を含むステークホルダーとの協議を促進すること



課題：規格基準の体系的整備



課題 3-b.



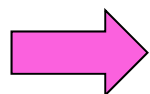
原子力規格委員会の取組み

前掲の原子力関連学協会規格類協議会の整備計画案も踏まえて電気協会原子力規格委員会では、規格の制改定を実施

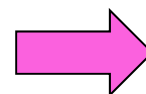
(活動の実施例)

- ✓ JEAC4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規程
- ✓ JEAC4629-2014 原子力発電所耐津波設計技術規程
- ✓ JEAC4209-2014 原子力発電所の保守管理規程
- ✓ JEAG4210-2014 原子力発電所の保守管理指針
- ✓ JEAC/G4601 原子力発電所耐震設計技術規程/指針(改定中)
- ✓ JEAG4601 原子力発電所耐震設計技術指針(重大事故対処施設編)(制定中)
- ✓ JEAG4625 原子力発電所火山影響評価技術指針(公衆審査中)

ただしSA対策やPRAの規格類への反映はやや遅れ気味である



課題：SA対策とPRAの活用



課題 2-a./3-a.



原子力規制委員会との意見交換会の実施(1/2)

第56回原子力規制委員会において、3学協会と原子力規制委員会の意見交換会を実施

- ✓ 日時:平成27年2月12日(木)11:30~12:20
- ✓ 資料:学協会規格・基準など標準策定活動の意義と今後の取り組みについて
- ✓ 学協会からの出席者:
 - 日本原子力学会 標準委員会 宮野フェロー
 - 日本機械学会 発電用設備規格委員会 金子委員長
 - 日本電気協会 原子力規格委員会 関村委員長
- ✓ 学協会から規格策定活動について説明。原子力規制委員会からは学協会に対する意見および要望等あり
- ✓ 対応について、原子力関連学協会規格類協議会及び各学協会
で検討中 ⇒(次頁へ)

原子力規制委員会との意見交換会の実施(2/2)

意見交換会での主な意見・要望は以下のとおり

- ✓ トレーサビリティの確保に一層の検討をお願いしたい
- ✓ 社会からの意見・批判がある場合はこれに答えてほしい
- ✓ 規制庁職員の参画について
 - a. ①トレーサビリティの確保、②職員の参画とエンドースとは別(文書等で明確にする)であることが重要
 - b. オブザーバの位置付けの明確化、規制庁ニーズの明確化
- ✓ 規格の誤記への対応について
 - a. 誤記が見つかった場合、規制庁への速やかな連絡をお願いしたい
 - b. 規格策定の品質を高めてほしい

課題：安全性向上に向けた学協会の役割は？

課題 1-a.

課題：規格制改定作業における品質向上

課題 4-a/b



課題のまとめ

今回のパネルディスカッションのテーマ



1. リスクガバナンスの枠組みのもとでのリスクマネジメント
 - a. 安全性向上に向けて、学協会の役割は何か
2. 学協会によるPRA活用のための環境整備
 - a. 地震・津波など外的事象に起因するSA対策とPRAの活用
3. 国内外の最新知見の収集・共有、規格基準の整備・活用
 - a. SA対策の向上と規格基準への最新知見の反映
 - b. 規格基準の体系的整備
4. 学協会規格の品質向上
 - a. 誤記等の発生防止対策
 - b. 誤記発生時のユーザへの連絡・周知方法の改善